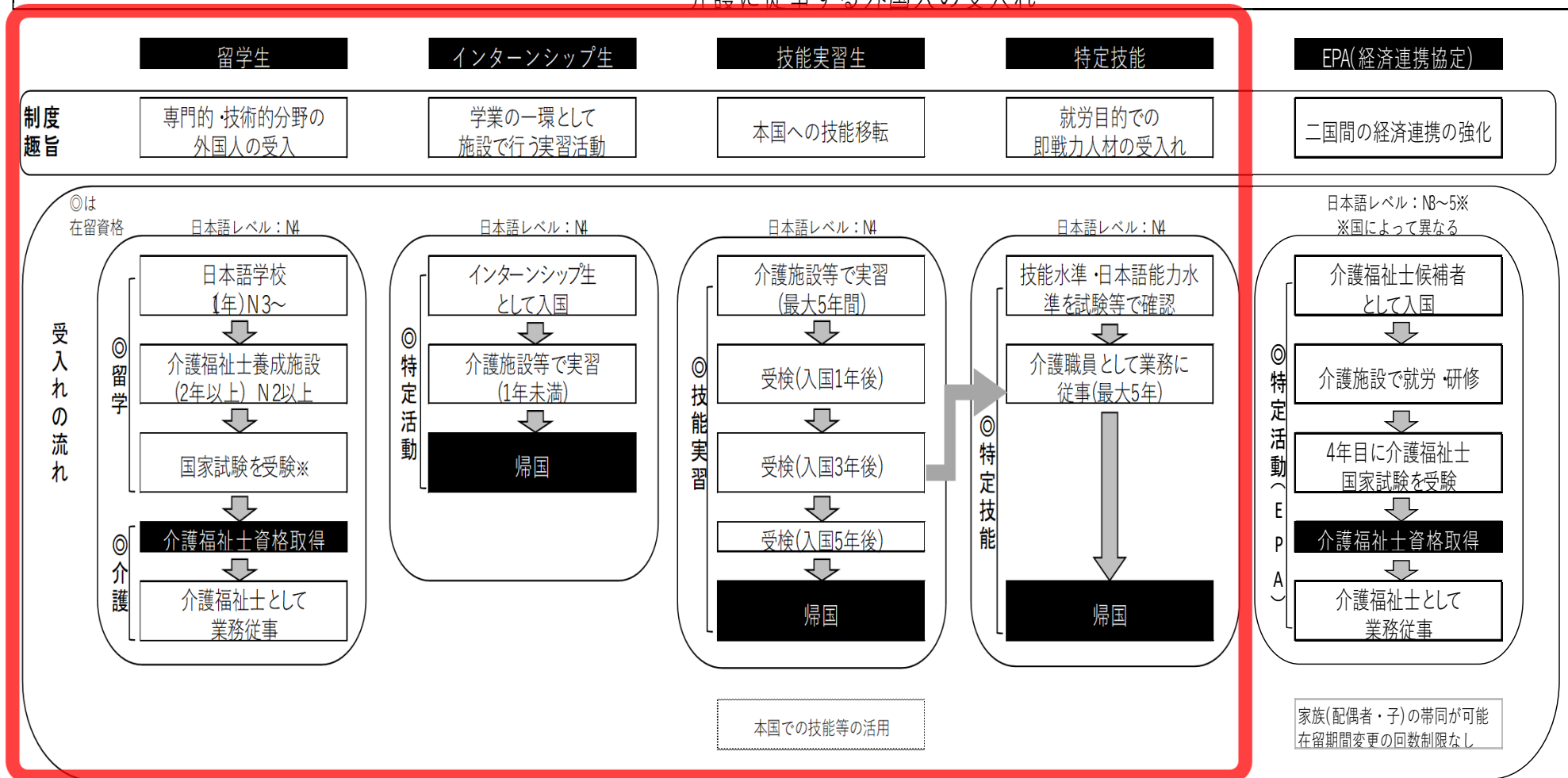


各種スキーム案内

外国人介護人材の受入

介護に従事する外国人の受入れ



外国人材の現状

◆国際的に労働力の争奪戦が激化！

人手不足は日本だけの問題ではない！

欧米

台湾

自国

◆今後は外国人介護人材の確保がより困難になると推測される

- ・2020年度：約216万人
 - ・2025年度：約245万人 不足
- 年間6万人程度の介護人材確保が必要

受入に係る**短所**より
長所をとる企業が増えています！



◆今のうちに人材確保ルートを開拓することが重要です！

良質な外国籍人材確保は早急に！
外国籍介護人材の育成は必至です

各スキーム比較 メリット

スキーム	メリット
留学	<p>期間：8年 ※在留資格『留学』アルバイト3年+『介護』勤続5年以上</p> <p>在留資格『介護』で長期勤務 若い未来の介護福祉士</p> <p>リーダー的存在として後進の指導</p>
特定技能1号 (国内外)	<p>期間：最大5年</p> <p>初期費用が手頃</p> <p>日本人と同条件の労働力として雇用可能</p> <p>入職から配置基準と夜勤対応が可能</p>
技能実習	<p>期間：3年間 ※在留資格『特定技能』への移行で最大8年</p> <p>実習3年間は必ず受入事業所で勤務（転職不可）</p> <p>看護学校出身者もしくは母国での介護実習経験者</p>
インターン	<p>期間：9ヶ月</p> <p>4年制大学 看護学部生</p> <p>本格的な受入前の使用期間として利用</p>